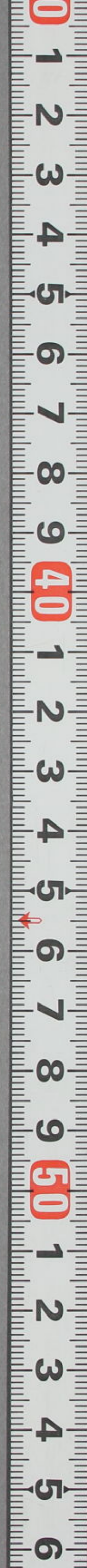




新編

和事始

1 3
1918
3



門 3
1918
卷 3

大和事始卷之三目錄

器用門 第七

藏書記

瀨尾文庫

東瀛文庫

舟一

車二

曆三

漏刻四

印六

劍六

鐔七

刀八

斧九

矛十

槍十一

杖十二

弓十三

半弓十四

矢十八

鎗十六

鞆十七

鞆十八

鏃十九

的二十

盾九一

鎧九二

旌旗九三

馬幟九四

金鼓九八

弩九六

火箭九七

鉄炮九八

小田村正
長男友方
印

筆 九九

墨 三十

紙 二十一

琴 三十二

箏 三十三

琵琶 三十四

鏡 三十五

櫛 三十六

髮 三十七

梭 三十八

機 三十九

針 四十 附ウミラ績麻

笠 四十一

蓑 四十二

席 四十三

席薦 四十四

胡床 四十八

假座 四十六

鞆 四十七

秉炬 四十八

庭燎 四十九

火打袋 五十

槽 五十一

釣 五十二

籠 五十三

絹 五十四

幣帛 五十五

端出之繩 五十六

礮礮 五十七

水碓 五十八

指南車 五十九

陶器 六十

碁 六十一 雙六 附ヒヤウブ上屏風 六十二

竹束 六十三

水泉 六十四

檜 六十又

碑 六十六

佛幡 六十七

蓋 六十八

香爐 六十九

鞍 七十

寶貨門 第八

三種神寶 七十一

玉 七十二

金 七十三

銀 七十又

銅 七十八

錢 七十六

銀錢 七十七

紙錢 七十八

鉛粉 七十九

紺青 八十

大和事始卷之三目錄終

車二

曆三

中事拾卷三

年。トシヤトルキヘ子ニ推古天皇十二年也。正月戊申朔を

以て始く曆日法用。これを以て見れば。

推古天皇十時より曆日法用ひ一なり。

ロウコク漏刻

天智天皇元年冬子より一時始て三時

漏刻を製造し多し。日本是日本漏刻の

始也。

その後中統一しては悉く造るゝなり。

保元二年十一月辛未。天皇御宇。保元後白河院

一。百餘抄よりなり。保元後白河院

イニ印

文武天皇元年冬。乙未。四月。鍛冶司と

徳兵衛と稱する。乙未。四月。鍛冶司と

作と用ひ始なり。

イニ印

伊弉諾天皇。乙未。四月。鍛冶司と

実智の頭と稱して。乙未。四月。鍛冶司と

鍛乃起。乙未。四月。鍛冶司と

千口を仰り目切にふりし。人代劔を仰りし。ゆきや

鐔 七

伊特イサ ナギノミト倭ナギノミトを斬遇突智カクツチを切あひし。時劔鐔ツルギノハより血ヘタキ激タレ越シリて祚ツカサとなふ。舊キウうをいし。又そ来事久し。

刀 八

天照大神乃所付。天目一箇アメメヒトツノカミ祚刀ツカサを仰り。舊キウうをいし。是乃始也。

斧 九

入也。天目一箇アメメヒトツノカミ令乃仰り。是乃始也。舊キウうをいし。是乃始也。

矛 十

伊特イサ ナギノミト倭ナギノミトを斬遇突智カクツチを切あひし。時劔鐔ツルギノハより血ヘタキ激タレ越シリて祚ツカサとなふ。舊キウうをいし。又そ来事久し。

槍 十

中大兄ナカノヲホエノワラジ皇子天智天皇也。槍ヤササキを仰り。是乃始也。舊キウうをいし。又そ来事久し。

又ニ代実探元又スヨ乃糸下ヨ檢ホコ一百八十竿サホ強檢七十三竿カニ鉾尾檢ホコ一百八十竿ナニツヲノと紀ニルせり。

今世^{モツラヘイキ}は乃^{ナリ}兵燹^{ヨウ}乃^{ヨウ}新刊^{シンカン}とす。乃^{ナリ}陰ハ楠正成^{スミヨシ}乃^{ナリ}彼も亦云^{オモソクモトモ}。太平記^{テイヘキニサツラ}に又^{マタ}を佐々木合^{ツバモノ}我^ガ代系下^{エノキニサツラ}に楠正行^{スミヤカノユキ}の兵士の内^{ウチノテ}天野^{アマノ}了^ヲ頼^{タノシ}と云^{ハフ}作武名柄^{ムネノハダ}の名さ一丈^{イチジョウ}許^ホより
予^{コノ}所^{コロ}残紙^{ザリシ}る乃^{ナリ}平氏^{ヘイジ}日川^{ヒキノエ}別^{ワケ}ありとある。
乞^ギ諸^{モロ}と判^ハしりたり也^{ナリ}。云^{イハレ}よ名^ナしりて乃^{ナリ}始^{ハジメ}なりん。

杖ツヱ
十二

伊^イ勢^サ侶^{ナギノ}爲^{ミコト}杖^{ツエ}を投^ナぐ事^{コト}あり。舊^{キウ}くそ杖^{ツエ}の

弓^ユ_三
十三

天照大神 弓^{ユハ}鏑^{ツグ}とありちとーありあり。
舊よりありととそ^{キタ}ありととー。

ト部家代説ハ。素戔鳴尊天ノ降也。
 天照大神之宇多。置若
 高城ノ也。昔ノ事ナシ。不
 知也。

奪人とする志を人としてそれと防
 ぎたりんをあり。けり氏始よりあり。
 まう是れ河海抄。伊集院の時にて
 まうあふり。り。ゆき。そあより
 何より。や。人代より。緩請て。望。
 弓部稚彦とて。弓と矢と。めり
 ぬ。月記より。弓矢と。めり。
 めり。めり。

半弓 十四

神功皇后乃曰十六年。而伊月也。角弓
 矢と。なり。り。月記より。り。
 始より。人。中。華。佐。夫。た。る。そ。用。り。あ。れ。り。略。も。り。也。
 字も。大弓と。云。字と。合。あ。る。も。の
 かりと。或人より。さ。あ。り。

矢 十又

天照大神。四宵。子。器。乃。鞆。と。負。あ。り。舊
 と。あ。る。も。り。久。又。る。望。彦。靈。也。天。稚
 彦。天。麻。呂。天。羽。矢。と。賜。天。稚
 あ。り。あり。神代より。天。羽。矢。と。て。二

ねよるぎーとや。今よふまで伊勢大
神宮^{グジニホウ}神寶^{ホウ}の矢ハ二羽也。

人代^{フヨシ}よ及く。緩^{スイセイ}結^{セイ}と見。矢部^{ヤベ}とて矢と
他^ターめ給ふ。目^メを記よる。一り
乙矢と他^ターめあふ始とや。

鏑^{カグラ} 十六

舊^{クジ}より紀^キと梅^メずふ。天孫^{アマミミ}降臨^{カワリシ}の時。大伴
連祖^{ハシラヒラフ}天忍^{アメノリ}目命^{メノミコト}。月^{ツキ}日^ヒ天磐^{アメノイハ}敷^{ユキ}を負^{ヲヒ}臂^{ウデ}に
後^{アト}威^{イハレ}を鞆^{タカ}と矢^ヤ。子^コに天^{アメ}柁^{ハシ}を天^{アメ}羽^ハと矢と

及^{ヤツタ}八月^{ヤツタ}鏑^{カグラ}と別^{ワケ}持^{モチ}。又^{カフツナ}改^カ雅^{ツナ}劔^{ツルギ}を常^{ツネニ}て天孫^{アマミミ}
乃^ミ所^{サキ}前^{サキ}よ立^{タチ}く先^{サキ}証^{ハシメ}す也^{ナリ}あり。是^{コノ}鏑^{カグラ}れと

トめ也

鞆^{ユキ} 十七

前^{サキ}より及く。一り

鞆^{トモ} 十八

前^{サキ}より及く。一り

鏑^{ヤシ} 十九

前^{サキ}より及く。鏑^{カグラ}則^{ソレバ}鏑^{ヤシ}乃^{ナリ}始^{ハジメ}也^{ナリ}。人代^{フヨシ}及

て。綏靖^{スイセイ}と里乃^{リノ}所^ス時^{トキ}。天^{アメ}付^ツ大^{オホ}浦^{ウラ}と云^{イハ}もれと
して。真^マ齋^{サイ}鐵^{テツ}と作^{サシキ}と云^{イハ}もる。日本^{ヤマト}紀^キよ
る。そり。も人^{ヒト}代^{ヨリ}と云^{イハ}て。鐵^{テツ}
と作^{サシキ}と云^{イハ}もる。

的^マ二十

仁^ニ德^{トク}天^{アメ}皇^{ミコ}十二^{ジュニ}年^{ネン}より。深^{フカ}的^{テツ}と云^{イハ}もる。
甲^カけ^ケ也^ヤ。徳^{トク}人^{ヒト}とれと村^イ海^{トラ}するを云^{イハ}もる。
と。的^マ祖^ソ盾^{タテ}人^{ヒト}宿^{ヤク}祢^ネ村^イ也^ヤ。けとハ。人^{ヒト}。
おそれ^{オソレ}け^ケ也^ヤ。日本^{ヤマト}紀^キより。そり。そ我^{オレ}
と云^{イハ}もる。

盾^{タテ}二十一

天^{ヒコ}照^サ大^{オホ}祚^ソ乃^ノ時^{トキ}。度^{ヒコ}狭^サ知^チ祚^ソ盾^{タテ}と作^{サシキ}也^ヤ。
そ始^{ハジメ}なり。

鎧^{ヨロイ}二十二

祚^ソ代^{ヨリ}より。鎧^{ヨロイ}乃^ノと云^{イハ}もる。人^{ヒト}代^{ヨリ}と云^{イハ}もる。
そ始^{ハジメ}と云^{イハ}もる。日本^{ヤマト}武^{タケ}皇^{ミコ}甲^カと云^{イハ}もる。
日本^{ヤマト}紀^キより。そ云^{イハ}もる。そ云^{イハ}もる。

神^{ジン}祇^ギ靈^{レイ}靈^{レイ}紀^キより。神^{ジン}功^{コウ}皇^{ミコ}后^{コウ}。靈^{レイ}祚^ソと云^{イハ}もる。

とく〜とくい。御殿大あ〜て。御遣れ
 けし合さる〜ハるる大明神。御遣れま
 摺を切く。御賜乃あきさうあて
 されけり。それより。遣乃賜楯ハ
 まより。

旌旗 二十二

日本記を考ね。神功皇后乃三韓と
 ちまひ〜時。旌旗目ハ耀くとあきと
 前よりとける

我必い〜ハ軍陣乃あ〜に
 と用也。無仁兵乱の時。出ハ我統
 心永海内あに。敵味方よりあき
 白旗を立てハ混雜する所。あよのかりと
 用ゆ。〜及諸法家のかりと用也。の
 心永より始也。

馬戲 二十四

永録乃〜てハるる〜
 や。元龜年中より〜。あき〜

もりて今ハさうしきあり。新事類。永祿元年。田院の年号。

金鼓 二十又

目也。紀と考。新事。功。官。后。三。韓。と。う。ら。あ。ひ。一。時。乃。軍。令。ふ。令。鼓。鼓。を。ハ。士。卒。と。う。く。一。と。う。く。新。新。入。の。ひ。時。鼓。吹。部。を。死。して。山。川。悉。く。振。ふ。と。志。れ。せ。り。あ。う。さ。バ。も。あ。う。り。軍。陳。よ。金。鼓。を。と。用。ひ。一。と。う。く。軍。陳。よ。は。螺。貝。と。用。ふ。も。も。如。く。一。

さ。う。う。や。盛。衰。記。磁。並。合。戦。乃。不。ふ。は。螺。貝。の。う。り。あり。

螺 二十六

善。相。云。意。見。封。う。よ。云。中。乃。武。器。強。弩。と。う。く。新。也。と。う。く。も。用。ふ。所。也。通。將。よ。龍。也。と。う。く。も。也。御。衆。も。也。せ。り。也。然。る。は。お。傳。て。云。い。器。神。功。官。后。奇。巧。妙。思。と。め。づ。一。て。器。化。一。と。う。く。不。也。有。る。大。唐。よ。螺。う。あり。と。う。く。も。有。て。目。中。乃。螺。大。動。利。な。り。

みちのく。又。新。是。始。也。

火箭 二十七

欽明天皇十又年十二月。新羅の叛けれ
と征せし。時。統監物部。莫奇。委沙
奇。能。火。前。を。討。く。そ。月。九。日。周。時。城。を。焚
て。これ。を。援。と。日本。紀。に。み。え。り。是。日
より。火。矢。を。用。に。始。也。

鉄炮 二十八

天文十二年癸卯の。八月。又。日。大

隅。乃。内。務。子。乃。別。を。去。り。乃。西。村。の。小。浦。に。

其。五。此。大。船。一。艘。漂。着。を。船。害。百。餘。人。あり。そ

形。類。を。く。そ。皆。通。せ。ん。何。由。の。人。と。云。ふ。を

あ。ら。む。そ。中。に。大。明。乃。儒。生。一。人。居。り。又

峯。と。名。け。り。け。時。西。村。に。司。よ。後。部。丞。と。云

ふ。の。あり。頗。又。字。を。去。り。偶。又。峯。を

遠。て。筆。談。し。て。南。雲。乃。買。客。か。け。り。を

去。れ。り。同。廿。七。日。番。船。を。奪。く。赤。尾。本。津。よ

へ。い。乃。司。務。子。乃。時。亮。と。船。中。を。焚

検^{ケン}。弾^{ダン}。一^{ソウ}。偽^{チウ}。君^{ユニ}。首^ソ。能^ニ。と云^ト。もの^{モノ}。と^ト。一^{ヒツ}。て^テ。尋^{ヒツ}
 候^{タニ}。せ^セ。む。賈^カ。胡^ゴ。の^ノ。七^{カシラ}。二^ニ。人^ニ。あり^{アリ}。て。一^{ヒツ}。人^{ヒツ}。ハ^ハ。年^{ネン}。良^ラ
 叔^{シウ}。舎^ヤ。と云^ト。一^{ヒツ}。人^{ヒツ}。と云^ト。利^リ。志^シ。多^タ。吾^ウ。と云^ト。に^ニ
 二^ニ。三^{サン}。尺^{シツ}。より^{ヨリ}。あり^{アリ}。物^{モノ}。以^{ヨリ}。携^{ケル}。へ^ヘ。を^ヲ。別^{ワケ}。今^{イマ}。此^{ココ}。鉄^{テツ}。炮^{ポウ}
 也^{トキタカ}。時^{トキ}。竟^ケ。況^{カハ}。て^テ。値^チ。を^ヲ。知^チ。ず^ズ。と^ト。彼^カ。二^ニ。乃^ハ。鉄^{テツ}。炮^{ポウ}。と^ト。實^{カヒ}
 知^チ。又^{マタ}。詮^{セン}。釋^{シツ}。して^{シテ}。其^{ソノ}。術^{ジュツ}。を^ヲ。盡^{ジン}。人^ニ。且^{ナラニ}。智^チ。の^ノ。多^タ。り^リ。
 其^{ソノ}。業^{セリ}。此^{ココ}。制^{セイ}。法^{ホウ}。を^ヲ。い^ハ。小^{セウ}。長^{シヤ}。策^サ。川^{カハ}。小^コ。河^{カハ}。節^{セツ}。と云^ト。と^ト。此^{ココ}
 一^{ヒツ}。て^テ。これ^{コレ}。を^ヲ。学^{ガク}。む^ム。け^ケ。時^{トキ}。は^ハ。あ^ア。て^テ。紀^キ。別^{レツ}。根^{コン}
 来^キ。ち^チ。の^ノ。偽^{ソウ}。杉^{スギ}。場^{バウ}。と云^ト。もの^{モノ}。の^ノ。あ^ア。り^リ。と^ト。里^リ。を^ヲ。盡^{ジン}。と^ト。世^セ

び^ビ。て^テ。鉄^{テツ}。炮^{ポウ}。を^ヲ。求^{モト}。む^ム。時^{トキ}。竟^ケ。其^{ソノ}。能^ニ。を^ヲ。少^コ。き^キ。と^ト
 と^ト。感^{カン}。ず^ズ。け^ケ。回^ワ。望^{バウ}。わ^ワ。と云^ト。もの^{モノ}。の^ノ。故^コ。して^{シテ}。鉄^{テツ}。炮^{ポウ}
 一^{ヒツ}。挺^{テイ}。を^ヲ。杉^{スギ}。場^{バウ}。よ^ヨ。送^{オウ}。り^リ。且^{ナラニ}。如^ニ。茶^{チャ}。の^ノ。法^{ホウ}。と^ト。火^ヒ。を^ヲ。教^{オウ}
 り^リ。送^{オウ}。と云^ト。む^ム。又^{マタ}。時^{トキ}。竟^ケ。鉄^{テツ}。道^{ドウ}。教^{オウ}。人^ニ。と^ト。て^テ。
 其^{ソノ}。然^{ウツ}。乃^ハ。形^カ。象^{ゾウ}。と云^ト。見^ミ。せ^セ。め^メ。目^メ。夜^ヤ。銀^{ギン}。絲^シ。と^ト。新^{シン}
 よ^ヨ。これ^{コレ}。を^ヲ。説^セ。せ^セ。ん^ン。と云^ト。其^{ソノ}。被^{ナリ}。制^{セイ}。ハ^ハ。頗^{ナラニ}。と云^ト。れ^レ。と^ト。似^ニ
 き^キ。り^リ。と云^ト。と^ト。其^{ソノ}。座^ゾ。を^ヲ。ふ^フ。く^ク。と云^ト。と^ト。云^ト。す^ス。
 其^{ソノ}。望^{アツ}。又^{マタ}。垂^ス。終^{シュウ}。乃^ハ。賈^{アキ}。胡^{ヒト}。後^ゴ。子^シ。乃^ハ。四^シ。然^カ。野^ノ
 浦^{ウラ}。と云^ト。其^{ソノ}。賈^{アキ}。胡^{ヒト}。の^ノ。中^{ナカ}。に^ニ。率^{サイ}。と云^ト。一^{ヒツ}。人^{ヒツ}。此^{ココ}。鉄^{テツ}。匠^{カチ}

東^トも^{ヒロマ}も^{ヒロマ}度^{ヒロマ}り^{ヒロマ}け^{ヒロマ}れ。又^{ヒロマ}も^{ヒロマ}盟^{ヨク}の^子日^ニ本^ニ乃^ニ商^{アキ}人^{ヒト}
 大^ミ明^シへ^ミ渡^{ワタ}る^{ワタ}を^{ワタ}始^{ハジ}め^{ハジ}る。大^ミ風^{フウ}は^{フウ}あ^{フウ}ら^{フウ}く^{フウ}
 ち^チや^ヤさ^サな^ナい^ナ。そ^ソの^ノ中^{ナカ}に^{ナカ}終^{ハシ}る^{ハシ}子^コ時^{トキ}乃^ハ位^チ人^{ウニ}松^{マツ}下^ノ又^{マタ}
 良^リら^ラ節^{セツ}と^ト云^{イハ}ふ。鉄^{テツ}炮^{ハツ}技^ギ術^{ジュツ}習^{シユ}熟^{ジュク}れ^{ジュク}る^{ジュク}の^{ジュク}あ^{ジュク}り^{ジュク}て^{ジュク}
 八^{ハチ}ヶ^ケ月^{ゲツ}又^{マタ}傳^{デン}へ^{デン}け^ケれ。統^{トウ}治^チと^ト別^{ベツ}鉄^{テツ}炮^{ハツ}乃^ハ終^{ハシ}る^{ハシ}子^コ
 文^{モン}永^{エイ}二^ニ年^{ネン}元^{ゲン}和^ワより^ワ日^{ニッ}本^{ポン}を^{ポン}攻^クめ^クる^ク時^{トキ}統^{トウ}治^チあ^チり^チて^チ
 多^タの^ノ仲^{ナカ}少^シく^シ戦^{セン}あ^アり^リる。大^{ダイ}元^{ゲン}乃^ハ軍^{グン}中^{チュウ}に^{チュウ}
 王^{オウ}鉄^{テツ}炮^{ハツ}と^ト云^{イハ}ふ^{イハ}る^{イハ}の^ノと^ト發^{ハツ}射^{シャ}す。大^{ダイ}平^{ヘイ}紀^キは^ハこの^ノ時^{トキ}

足^{コソツハモノ}け悉^シあ^シあ^シを^シ知^シり。此^シ迄^シ大^シに^シ今^シ
 い^シふ^シろ^シろ^シく^シ火^シ矢^シ乃^シ類^シれ^シわ^シと^シス^シる^シ也^シ或^シ然^シ
 又^シ目^シ中^シに^シ鉄^シ炮^シ海^シに^シ始^シハ^シ文^シ龜^シ元^シ年^シに^シ南^シ
 豊^シ上^シり^シ始^シと^シ。未^シだ^シに^シ鉄^シ符^シが^シい^シり
 と^シ。技^シ術^シ妙^シ法^シに^シ傳^シへ^シと^シと^シ云^シ。甲^シ作^シ武^シ
 田^シ家^シに^シハ^シ大^シ永^シ七^シ年^シ西^シ公^シ浪^シ人^シ井^シ上^シ新^シ泰^シの^シ
 と^シ云^シとの^シ信^シ虎^シよ^シな^シと^シ云^シ。鉄^シ炮^シを^シ作^シ
 庭^シけ^シれ^シ。又^シ小^シ東^シ家^シに^シハ^シ永^シ正^シ七^シ年^シに^シ。和^シ泉^シの^シ
 坂^シより^シ小^シ田^シ原^シ乃^シ玉^シの^シ房^シと^シ云^シ。伏^シ見^シ求^シ

て。小^シ東^シ氏^シ繼^シ子^シを^シり^シけ^シれ^シと^シ云^シ。是^シ迄^シ西^シに^シく^シ
 里^シと^シい^シふ^シと^シ。鉄^シ炮^シ乃^シ制^シ他^シ技^シ術^シた^シに^シ傳^シへ^シ
 一^シハ^シ。終^シ子^シ乃^シより^シ事^シ起^シる^シ。是^シ迄^シに^シ日本^シ
 鉄^シ炮^シあ^シり^シ始^シ也^シ。朝^シ録^シ人^シ乃^シ他^シに^シ傳^シへ^シ懲^シ録^シ
 に^シ。新^シ暦^シ丙^シ戌^シ。目^シ中^シの^シ天^シ心^シ。秀^シ吉^シ。平^シ義^シ智^シ。家^シ對^シ
 と^シい^シて^シ。キ^シタ^シ。義^シ智^シ乃^シ銃^シを^シ朝^シ録^シ玉^シに^シ
 傳^シへ^シ。我^シ必^シ乃^シ銃^シあ^シり^シと^シい^シに^シ始^シ傳^シと^シ
 あり。是^シより^シ是^シハ^シ別^シの^シ録^シより^シ日本^シより^シ始^シ
 て^シ後^シ也^シ。

筆 ^{フデ} 二十九

無印と申す乃時始く^{モシ}文字を用ひ一六。是より始て筆あるへい。

按ずるに。姓氏録に。燕^{エン}おむ衛^{エイ}漏^ロ云乃後よ

く筆を傳ふ。十一流^{リウ}ぬかふ。これ又因て

筆^{フデ}氏とありとあり。是れ内府のすゝめりて

墨 ^{スミ} 三十

これも筆^{フデ}とわづらひくまけりなり。日本

紀と考^{ガン}れぬ。推古天皇十八年^{イコ}三月^{カウ}藤原

偽墨^{ハウ}徴^レと貢^{コウ}とす。け人々紙^{カミ}墨^{スミ}を傳ふとある

む。内より日本^{スミ}墨^{スミ}傳ふをあるなり。

中世^{チュウ}南^{セイ}都^ナ興^{キョウ}福^{フク}寺^ジ乃二^ニ諦^{テイ}坊^{バウ}持^チ佛^{ブツ}堂^{ダウ}乃^ナ此^{トモ}氏^シ

烟^{ケリ}乃^ナ座^ヤ子^コ乃^ナ蒸^{スエ}沸^ヒ乃^ナの^ノ紙^{カミ}ぬて。牛^{ウシ}膠^{カウ}は

和^ワして墨^{スミ}を傳ふ。是南^ナ都^ト煙^{エン}墨^{スミ}れ始^{ハジ}とい

ふ。

紙 ^{カミ} 三十一

これ墨^{スミ}徴^{テウ}より始^{ハジ}り。前^{マヘ}より

琴 ^{コト} 三十二

大己貴命乃らるるひー天詔琴あり。舊

記あり也。バ祢代よりすでに琴あり。

河海抄云。和琴ハ伊弉諾伊弉冉冊云。此

所付化出ーまゝとあり。毎名抄云。和

琴乃らるるハ。弓六弦と記あり。

これを祢樂り用けるを。弓づかへーと

て後乃人ことよはたりしなり。又又秋

西考あり。倭武樂よ又法琴ありと記せ

る。是れ和琴乃らるるなり。

箏 三十三

命婦乃川龜子と云ー人。統志云。唐

唐人よあひて。箏乃らるるを。唐

乃らるるを。河海云。箏乃らるる也。

いみじくも。和琴ハ伊弉諾伊弉冉冊云。此

流あり。今も。箏乃らるるを。唐

化ハ傳り。統志云。箏乃らるるを。唐

これを氣樂よはたりしなり。又又秋

又又なり。和琴乃らるるを。唐

世ッソウ アタ 奏子中へるカヨウ 音強クハ。 類々ハ
 イニシヘタウジニ ツタユ 是古唐人ハ 傳々ナシ。 純道大
 セイイニ キヤウガク ヒ 邦者これを京樂ニ改めハ 淫靡リ
 一て飛ふトス。 次。 是たこれと今
 コシヤ タン 乃替ふハ 強スリ。 所ハ 此とれハ。 又頗飛
 コト キハメ イニビ 筆ハ 極ク 淫靡ナリ。 其由テ 來由不
 チカ 一。 二三十 年前 純俊王ハ 傳アリ。 此ハ
 ガウ センダウジニ チウ 一。 是等と 善守王ハ 傳一。 純俊筆と 傳アリ。

後小江戸は仍^{ユキ。シヨケ}徳家小姓来^{ワウライ}て筆と
 深^{タニ}も。還俗^{ケニゾク}して甚^ジ時賣^{シヤウ}と^エのり^{サウコロシユウ}筆術
 と^コハヤツハレ^{ケニダウ}八指検校^{ツタ}り傳^{ツタ}ふ。八指検校^{ケニダウ}
 これを習^{ナラヒエ}ひて改^{オアラタ}て三^{サミセ}法^{ホウ}の曲^{キョク}と合^{アハセ}うけ
 て^{インセイ}流^{リウ}と^{カウ}なり^{ナリ}て。流^{リウ}俗^{ゾク}の^レ者^{カウ}好^{コウ}り
 合^{アハス}。あ^{フウ}は^{フイ}り^{ヘン}して^{フウ}月^{グツ}大^{ダイ}小^{ショ}変^{ヘン}ど^ビて^{マニ}魔^マ愛^{アイ}
 乃^{カク}樂^{ガク}と^{カク}なり。此^{コノ}色^{シキ}を^{モノ}其^{ツク}中^{ナカ}来^{キタ}新^{シン}不^フ代^{ダイ}志^シ流^{リウ}
 出^シ流^{リウ}か^カふ^フ流^{リウ}流^{リウ}と^{セウ}称^{セイ}と^{イニ}あ^{ハス}流^{リウ}
 と^ハあ^ハり^ハる^ル。八^{ヤツ}指^{ハレ}検^{ケン}校^{ゲウ}ハ^ハ貞^{テイ}享^{キョウ}二^ニ

琵琶 二十四

玉介續始也。

鏡 カミ
三十八

樣
二十六

多々あり。舊々
ニ ユライ
中來久。

七兆
變 カッラ
今俗 ガク
か ド と云ふの意也

伊^イ味^サ張^{ナキノミコト}爲^ノ思^{カッラ}變^{ナシ}を投^{ナシ}多^{ナシ}ふ^{ナシ}多^{ナシ}あり。舊^{ナシ}多^{ナシ}記^{ナシ}

梭^ニ
三十八

機ハタ
三十九

舊子

志の通ハ外祿

代より機^キ織^{チヨ}乃^ノは備^{ソナハ}より

十四
針
續
麻

大己貴神ヲホナムチノカミ 大陶祇女ヲホスミツミノスメイコ 活玉ヨリヒメ 依姬ヨリヒメ 又カヨ 海ウミ へまの時。
 其父母ミアラハ 奈歌ナカ さんとして。續麻ウミラ と線ヘソ りツク 針ハ。
 約リ とヤシキヒト 神人モスツ の短裳カケ 又係アフルアキタイト て明旦コハチヌヤ 糸イト のま
 みタツ子 のカギノアチ 鑰カギ 穴アナ よりコハチヌヤ 哉コハチヌヤ 茅渟ヤハ 心
 とヘミモロヤハ 経トビ 三ミ 依ヨ 山ヤマ 又トビ 爲ナ れとあり。舊キウ りハ ころの時ハ 針ハ
 續麻ウミラ 又カヨ とヤシキヒト すでスデ にありけし。

卷之十一

天照大神。紀伊忌部^{トラッラヤ}を祖^{タラキ}と云^ホ。帆^{ラヒノ}負^{カミ}神^ニと^{カサ}して坐^{カサ}を^{カサ}に^{カサ}し^{カサ}て^{カサ}坐^{カサ}す^{カサ}。坐^{カサ}す^{カサ}。坐^{カサ}す^{カサ}。

蓑 四十二

素戔嗚鳥^{ソサノヲノミト}を^{ミト}草^{クサ}と^{ミト}結^{ユビ}束^ミて^ミ。以^ミて^ミ蓑^ミと^ミ云^ミ。蓑^ミと^ミ云^ミ。蓑^ミと^ミ云^ミ。

席 四十三

素戔嗚鳥^{ソサノヲノミト}を^{ミト}天照大神^{ニヒハヤ}に^{ミト}新宮^{ニヒミヤ}乃^{ミト}由^{ミト}席^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。乃^{ミト}由^{ミト}席^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。乃^{ミト}由^{ミト}席^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。

し

席薦 四十四

海神^{ワタツミ}彦火^{ヒコホ}を^{ミト}出^{ミト}見^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。乃^{ミト}由^{ミト}席^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。乃^{ミト}由^{ミト}席^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。

とげりや。

四 胡床 俗云床机

天若日子^{アマワカヒコ}胡床^{アブラ}に^{ミト}寝^{ミト}を^{ミト}云^{ミト}。乃^{ミト}由^{ミト}席^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。乃^{ミト}由^{ミト}席^{ミト}と^{ミト}云^{ミト}。

假殿 四十六

和事如卷三

北

八早
補フキ
フイカハ

八旱
秉タ
炬ヒ

庭燎ニロ
四十ロ九

火市袋 五十

目^ヤ中^ト武^{タケ}家^ノ東^ミ征^ミ一^ミ時^ト。お^サ候^カま^ミう^ミを
 里^シの^ミけ^ミれ^ミぬ。そ^シの^ミ造^ミ日^ミ中^ミ武^ミ家^ミの^ミ候^ミと^ミ致^ミて。
 火^ヒと^ミ焼^ミけて^ミ神^ミと^ミ焼^ミける。そ^ミう^ミと^ミそ^ミの^ミ候^ミを
 焼^ミく^ミと^ミあ^ミり^ミ一^ミ時^ミ。そ^ミの^ミ候^ミ係^ミは^ミ賣^ミ合^ミの^ミ
 賜^ミ入^ミ不^ミの^ミ囊^ミ此^ミの^ミ候^ミ穿^ミて^ミと^ミそ^ミの^ミ世^ミの^ミ
 庭^ミハ^ミ火^ミ折^ミそ^ミの^ミあり^ミ。こ^ミう^ミに^ミお^ミの^ミく^ミ先^ミそ
 刀^ミと^ミし^ミく^ミ柔^ミと^ミ刈^ミ割^ミひ。そ^ミの^ミ火^ミ折^ミと^ミい^ミて^ミ火
 と^ミ折^ミ出^ミ一^ミ。向^ミ火^ミと^ミ点^ミて^ミ焼^ミ退^ミけ^ミ還^ミ出^ミく
 皆^ミそ^ミの^ミ造^ミ家^ミと^ミ切^ミ滅^ミを^ミま^ミへ^ミ。び^ミの^ミち^ミの^ミ記^ミ

ぬ^ミり^ミそ^ミり^ミ今^ミの^ミ造^ミ家^ミを^ミ造^ミ製^ミあ^ミへ^ミ。
 兼^ミ文^ミの^ミ云^ミ。今^ミ世^ミ俗^ミ火^ミ折^ミ袋^ミと^ミ号^ミ一^ミて^ミ刀^ミの^ミ
 付^ミ合^ミもの^ミハ^ミけ^ミ周^ミ縁^ミを^ミあ^ミへ^ミ。
 槽^ミ 又^ミ十一
 素^ミ衣^ミ鳥^ミ号^ミ槽^ミ一^ミ口^ミと^ミ号^ミて^ミ酒^ミと^ミ壺^ミ一^ミと^ミ
 あり^ミ。舊^ミの^ミそ^ミの^ミ始^ミ久^ミ一^ミ。
 釣^ミ 又^ミ十二
 炭^ミ火^ミの^ミ出^ミ見^ミる^ミ。火^ミ酸^ミ芥^ミ命^ミ乃^ミ釣^ミと^ミり^ミて
 失^ミふ^ミり^ミあり^ミ。舊^ミの^ミそ^ミの^ミ始^ミ久^ミ一^ミ。
 中^ミ事^ミ略^ミ三
 仕^ミ四

籠 又十二

燭出をる。疾火を。出んを。乃を。あり。大。る。
疾火を。化。又。ハ。堅。る。と。云。今。此。籠。也。と。
あり。舊。り。是。籠。の。始。也。

罽 又十四

火。酢。芥。命。の。物。を。疾。火。を。出。ん。を。此。火。の。始。
ハ。一。時。火。酢。芥。命。点。炎。あ。り。故。又。疾。火。を。
出。ん。を。海。濱。又。低。伺。結。吟。あ。り。時。又。川。原。
あり。て。罽。あ。り。て。因。危。と。あり。舊。り。是。

罽 又十六

天。照。大。神。天。太。玉。神。依。方。の。神。と。率。て。幣。
帛。を。化。し。て。ひ。ひ。舊。り。是。其。始。な。り。ん。

端 出之繩 又十六

天。照。大。神。天。磐。戸。の。あ。り。お。ひ。一。時。太。
力。雄。神。天。照。大。神。の。は。り。成。り。て。川。出。
た。れ。こ。に。か。の。く。中。臣。神。忌。部。神。等。
繩。と。川。の。く。す。れ。ら。り。て。り。さ。り。す。

かたしりまゝにそま。并代
娘を人。これ志女ナハの

礮アツウス 又十七

推古天皇十八年去三月高カウライワウソハ廉王ローン傷雲ドーナ徴
と貢タテマツ海アツウス人アツウスと礮アツウスと造ツク
り。に娘ハレ海アツウスと目アツウス中アツウス記アツウスより。

水碓ミツカラウス 又十八

天智テンチ天皇九年水碓ミツウスと造ツクり。よ
目ミ中ナ記キより。

指南車シナニシヤ 又十九

天明サイメイ二年。沙門シヤモン智チ踰ユ持シ南車ナンシヤと造ツクり。
目ミ中ナ記キより我ワ必カク持シ南車ナンシヤの始ハジメ也。

陶器スエモノ 六十

陶器スエモノハ神代シノキモノよりある。大己貴命オホニギハヤヒの内ウチ茅チ

渟縣スノアカタより大陶祇オホスエツミと云イハレ神カミあり。舊コより記キより

えり。茅渟縣チノアカタハ今イマ和泉ワヰ必カク且ナニ属ゾクと。今イマ和泉ワヰ

泉ツミ必カク且ナニ陶器スエモノ村ムラあり。これ大陶祇オホスエツミの任スミより

らん。俗ソウザツ統キヤウギより行キヤウギ基キ始ハジメて陶器スエモノ村ムラより居イて古コハ多タく土ド

器陶器と用いし。ゆ。されハ職負令み管陶司

あり管陶正ハ掌管陶器皿と作り

一平碁 雙六

右儀大旨入唐の時。碁双六と持ち来り。是

も始也と俗説よと傳ふ。此を大持統天皇

三年十二月。双六と禁断せしむ。是より日

を記よる。ゆ。此ハ。此を始とせしむ。此

屏風 六十二

天武天皇。朱鳥元年。新羅公より持来り。乃

ちて洞貢と。又智祥健勳。ホウ敬り。色。此中

に屏風あり。日。此より。是より。是より

屏風あり。此より。是より。是より

作東 六十三

此を攻め。此の時。竹。此を。此を。此を。此を

よ。此より。此より。此より。此より。此より。此より

武田信玄。此より。此より。此より。此より。此より。此より

其家。此より。此より。此より。此より。此より。此より

と仕出せり。是より。此より。此より。此より。此より。此より

前々々々々。

香爐 六十九

天智^{テンチ}八年冬十月^{テシワウ。フチハラノナイダイジ}天皇^{イミ}幸^{ミユキ}一^{コガ子ノカウロ}の金香爐と福^{タマハ}を^ミ一^ミ日^ニ祀^スり^スる^ル。ま^ニう^ニれ^ニば^ニお^ニそ^ニあ^ニり^ニあり^ニけ^ニれ^ニや^ニ。

鞆 七十

筑後^{チクゴ}國^{クニ}風土記^{フツドキ}よ^ニ云^フ筑後^{チクゴ}五^ノい^ハま^ニを^ニ筑前^{チクセン}と^ニ合^{アヒ}て^ニ一^ノふ^ハう^ニう^ニ。び^ハう^ニけ^ハあ^ハふ^ハる^ハる^ハれ^ハふ^ハに^ハ暖^ニく^ニ狭^{サバ}き^ハ坂^{サカ}あり^ニ。生^{ユキ}ま^ハの^ハ人^カが^ハす^ハる^ハふ^ハれ^ハ鞆^{クラ}鞆^{クラ}磨^{スリ}磨^{スリ}を^ニ

ま^ハ家^カと^ニう^ニく^ニ去^{トコロニ}人^{トコロニ}鞆^{クラ}鞆^{クラ}を^ニ坂^{サカ}と^ニ云^フ。鞆^{クラ}磨^{スリ}磨^{スリ}を^ニ今^{イマ}梅^{ウメ}ず^ハふ^ハ。筑^{ツク}後^ゴの^ハ号^{ガク}ハ^ハ。祚^{ソク}代^{ダイ}より^ニす^ニで^ニり^ニあり^ニ。ま^ハう^ニ家^カに^ハは^ハう^ニと^ニ云^フハ^ハ鞆^{クラ}鞆^{クラ}の^ハ磨^{スリ}磨^{スリ}よ^ニし^ハり^ハて^ハ名^ナ付^{ツク}と^ニあ^ニる^ニむ^ニ。祚^{ソク}代^{ダイ}より^ニ鞆^{クラ}あり^ニる^ニ分^フり^ハ也^ナ。

武士^{ブシ}の^ハ系^{ケイ}る^ハれ^ハ鞆^{クラ}の^ハ前^{マエ}編^ヒみ^ハ。テ^テガ^ガタ^タと^ニあ^ニる^ニ。よ^ニ切^キ敷^シと^ニ付^ツる^ハ。ハ^ハ。平^{ヘイ}治^ジ元^{ゲン}年^{ネン}。ナ^ナ二^ニ月^{ゲツ}廿^ニ七^{シチ}日^{ニチ}。待^{タイ}賢^{ケン}門^{モン}軍^{グン}の^ハ時^{トキ}。基^キく^ニを^ニし^ハて^ハ。後^{カミ}田^タ政^{セイ}家^カが^ハ系^{ケイ}る^ハ。一^ハ鞆^{クラ}の^ハ前^{マエ}編^ヒみ^ハ。は^ハう^ニ

らゐて紫^{ノリ}がうりーと。源義平^{ミナモトノヨシヒラ}号^ス魚^{イサ}これ
とろく^{オンイ}命^イしで^テも^{ガタ}歎^{ツケ}と付^{ツケ}させし^{ツケ}所^{ツケ}。是
も^テ歎^{ガタ}れ^ヲ起^ヲかり

銀ギン
七十四

梅^{アン}す^バか[。]の^テ形^ヤ解^グ載^ニぬ^{サイ}。射^ツる^レ貢^コ銀^ウに^ギあり^ニ銀^カ

銅子
七十文

^{シヨク}換日^{ゲンミヤウ}中紀^{ワドウ}り云。元明天皇^{ワドウ}和^{ワドウ}同元年正月廿一日
^{キョウミ}し已。武^ム菟^サは秩^{シク}父^ニ郡^チより和^{ワドウ}同を^{ワドウ}放^{フツ}る。日^{ニツカ}なり。
^{ワドウ}同あり始^{ハジメ}也と^ニ紀^キせり。和^{ワドウ}同と云年号^{ネンガウ}も。是よりして^ハめ^ニ
^{アツキ}也。○今^{イマ}按^{アツキ}ずるは。伊^イ弋^ガ俣^{ナギノ}溪^{ミナト}の^{ミナト}時^{トキ}とてふ^ハ白^{ハク}河^{カハ}流^{リウ}あり。天^{テン}
^{カミ}照^テ六^{ロク}神^{カミ}乃^ハ時^{トキ}石^{イシ}凝^{コウ}姥^バ令^{ミコト}。天^{テン}香^カ山^{サン}の^{ミナト}和^{ワドウ}と^ニ名^ナて。
^{カミ}流^{リウ}と^ハ流^{リウ}るより^ハあ^ハる^ハに^ハ始^{ハジメ}と^ハ名^ナす^ハ。

日本紀の云。持統天皇八年春二月二日。直廣
 大宅の右麻呂。勅大式臺忌寸八嶋。良書
 連が美ふと云く。持統司はあすとなり。是
 日かゝて後と持たり。此。武史より。持統始
 也。後日本紀の云。文武天皇三年十二月庚子。
 始持統司と云。持直大村中原朝臣。之。美鷹
 と云く。此官とす。あり。是。文武帝の時。改て
 持統文武の時。始と云。又。云く。元明天皇
 元年二月甲戌。始て。持統司と云。同。

七月丙辰^{ヒムタツ アフミノクニ}近^{ミヨトリ}に必^{トウセシ}し令^イして納^{ナドタ}残^{セシ}と稱^{セイ}させ
られ八月己巳^{ツチクトミ}始^{ハジメ}て納^{ナドタ}残^{セシ}を行^{ユク}ふ。
今^{アジ}按^{アヘ}ずるはこれより前^{マエ}殘^{セシ}といさめ
ありと。皆^{イコシ}吳^ゴ王^{ワウ}より來^キりし納^{ナドタ}を司^{スシ}
せむひし人^{ヒト}和^ワ納^{ナドタ}えむらふ。すは
しく日^ヒなり納^{ナドタ}出^デ來^キきん。和^ワ納^{ナドタ}殘^{セシ}八^{ヤチ}日^{ニチ}分^{ブン}
の納^{ナドタ}といさめ多^{オホカ}くなさん結^{ムスビ}過^カバお
是^{ココロ}際^{サカイ}目^メ中^{ナカ}此^{コノ}殘^{セシ}乃^{ハナハテ}始^{ハジメ}と云^{イハレ}へし和^ワ納^{ナドタ}開^{カイ}
珍^{チン}の殘^{セシ}今^{イマ}世^セは和^ワ殘^{セシ}より。是^{コレ}より歷^{レキ}代^{ダイ}

銭と铸さる。三才圖繪に目なれ銭
 六品と載せり。和銅開珍。抄功開珍。
 開寶と云ふ。天平。新羅通寶。天平寶字元年。
 神護元年は铸す。二月。乾文大寶。村上天皇。
 永寶。延壽十一年。乾文大寶。の付。延壽通寶。
 延壽七年。是也。延壽八年。目なれ銭。多し。
 十一月。延壽。又元史。日本商人を造。
 金と栴来て銅銭も易とあり。是後。多し。
 多し。建治三年。是也。是後。多し。
 多し。始。又後九十六。多し。

百文とすはる。上枚憲政の家老を尾を
 云制と立しより始。其尾ぐ云。敵必り入。
 町人地下人逐々そ和み居るさういふ。小
 身の中るかれおとも費づきやうな。結
 むるちづめて費かゝねば。代わはたう運
 が家もの也。ゆへにながせよ。嗣後もこの
 も久ら改めれば。代わと九十六文ありては
 又たけりけり。その所ニ文つ
 ニは多。又所ニ文と四なりあるハ。又なる

